

南極の支援記念の石



東京聖栄大学

(田所忠弘 理事長・学長)

1 1965年から1982年までの南極観測船「ふじ」(第7～第24次隊)の海上自衛隊隊員が昭和基地への食料を始めとした物資の補給任務や南極調査隊の支援として南極を訪れた際にこれまでの支援の御礼記念として隊員により持ち帰られた石。当時自衛隊食料調達補給課で隊員食の食事向上を目指し日々仕事をしてきた父が長年に渡る食料補給の御礼としてお土産品として頂いたものと聞いている。自衛隊退職後も冷凍食品を通じながら外食産業界でも「食」の仕事継続した父が書斎に大切に保存していた南極の『石』を今は、やはり「食」の大切さを示す本石を大学としても「食」への強い『意志』を全うする表現として私も理事長兼学長室に置かせて頂いている。

2022年(令和4年)10月12日(水曜日)

大学トップの**意外**な○○